

# 大分県地方史分野別総目録

## 原 始

創	姫島黒耀石の分布について……………	竹 長 賢 治……………	12
創	豊後国下城弥生式遺跡における鉄器遺物の編年に関する一考察……………	賀 川 光 夫……………	20
創	虚空蔵寺址発見博伝……………	賀 川 光 夫……………	92
4	上古の大分県……………	賀 川 光 夫……………	57
6	直入郡直入町神の原出土の石戈について……………	佐 藤 満 洋……………	62
11・12	原始・古代の別府……………	賀 川 光 夫……………	10
26	先史社会における水田経営とマコモ…………… 一丹生川遺跡について一	富 来 隆……………	1
26	土師甕使用の火葬墓について…………… 一豊後国直入郡直入町新田における一	佐 藤 満 洋……………	8
27	大分地方の「先縄文」について 一大分市庄ノ原・鶴崎市明野遺跡一……………	副 大 塚 雅 幸…………… 大 塚 重 昭 憲……………	99
32・33	木ノ上・高来山の横穴古墳……………	杉 崎 重 臣……………	147
32・33	「丹生」旧石器と旧象の歯と……………	富 来 隆……………	152
34	最近の考古学調査から……………	賀 川 光 夫……………	1
34	聖嶽洞穴遺跡……………	後 藤 重 巳……………	3
34	速見郡山香町大字広瀬川原田洞穴の調査……………	岩 尾 松 美…………… 酒 匂 義 明……………	13
34	稻荷岩陰遺跡発掘調査報告…………… 一大分県大野郡朝地町大恩寺稻荷一	羽 田 野 一 郎…………… 坂 田 田 邦 洋……………	29
34	所謂鐘ヶ崎式土器の層位出土の新例（小池原式の設定）一縄文後期小池原遺跡一……………	賀 川 光 夫……………	42
34	大野郡朝地町草木岩陰遺跡…………… 一縄文時代後期土墳墓の新例一	鈴 木 重 治…………… 鳥 養 孝 好……………	51
34	大分県大野郡緒方町大石遺跡の調査…………… 一縄文晩期初頭磨製石器の新例一	賀 川 光 夫…………… 阿 南 一 郎…………… 富 来 雅 勝……………	58

41	豊後国国崎郡安岐郷における 古墳と鉄の文化……………	水口忠孝……………	29
42	「早水台遺跡とその文化」覚書……………	佐藤 暁……………	1
73	大分川下流域における 在地首長の成立と発展……………	後藤宗俊……………	1
74	豊後国海部地方における 在地首長の成立と発展……………	後藤宗俊……………	1
77	九州東北部における後期旧石器時代の様相……………	清水宗昭……………	1
84	竹田市扇森山横穴出土遺物……………	真野和夫……………	84
89	大分県考古学の現状と課題……………	渋谷忠章……………	57
89	大分県の埴輪……………	高橋 徹……………	62
91	直入郡久住町石原遺跡採集の遺物……………	坂本嘉弘 讚岐和夫……………	83
98	大分県考古学の諸問題(1)……………	高橋 徹……………	43

## 古代・中世

創	西船東馬—日本史における地域性—……………	富来隆……………	3
創	宇佐宮荘園の成立過程……………	河野泰彦……………	31
創	司祭者の分裂……………	中野幡能……………	40
創	源範頼と鶴見郷古殿……………	後藤武夫……………	45
創	二豊の荘園について(一)—豊後国岡田帳—……………	渡辺澄夫……………	49
創	大友宗麟の墳墓に関する研究……………	増村隆也……………	64
3	豊後国岡田牒の柴山村と毛井村……………	伊東 東……………	39
4	大分県下の条里遺構……………	兼子俊一……………	1
4	吉野朝時代に於ける 豊後国の動静に就て(其の一)……………	増村隆也……………	8
4	島津勝久豊後に走り沖浜に死す……………	市瀬宗隆……………	32
5	大友後期の対明交通……………	久多羅木儀一郎……………	1
5	宇佐宮とその別符の成立……………	中野幡能……………	8
5	大友義統の古文書……………	三木俊秋……………	27

5	頼朝下文など新史料発見	竹内理三	52
5	上代の大分県	中能幡能	59
6	大友宗麟の墳墓に関する研究—続報—	増村隆也	14
6	上代の大分県(2)	富来隆	63
7・8	富貴寺の種子石、 梅遊寺の墨書十三仏板碑	酒井富蔵	13
7・8	天正年間の豊後国の間別帳	渡辺澄夫	32
7・8	竈門八幡の写経	伊東東	35
7・8	「大分県史料」編纂余聞 —志賀道輝について—	三木俊秋	38
7・8	木地屋文書	半田康夫	41
9	地頭の系譜 —豊後国田染庄曾禰崎氏について—	中野幡能	1
9	南海部郡平井文書の役割	三木俊秋	14
10	戦国時代の豊後府内港	岡本良知	1
10	雪舟と大分県	立川輝信	29
11・12	別府市の神社	中野幡能	13
11・12	荘園時代の別府—二豊荘園の研究(二)—	渡辺澄夫	23
13・14・15・16	大友宗麟の 社寺破却政策に就て	清原貞雄	3
13・14・15・16	一五八五年レツヂオ版 天正遣欧使節記(解題・訳文)	岡本良知	11
13・14・15・16	大友宗麟伝雑考	久多羅木儀一郎	32
13・14・15・16	大友宗麟と 臼杵・津久見・佐伯	増村隆也	54
13・14・15・16	大友時代末期の豊後臼杵	渡辺澄夫	65
13・14・15・16	大友氏の没落について	小田正衛	106
13・14・15・16	大友宗麟と茶道	立川輝信	115
13・14・15・16	大友宗麟の狩猟に関する文献	立川輝信	173
13・14・15・16	大友宗麟年表	中野幡能 橋本探六	185

<b>17・18・19・20</b>	豊後国日田郡日田荘・津江山・大肥荘について—二豊荘園の研究—	渡 辺 澄 夫	1
<b>17・18・19・20</b>	山村における「あらけ」について	中 野 幡 能	39
<b>17・18・19・20</b>	津江・長谷部氏に就ての一考察	立 川 輝 信	50
<b>17・18・19・20</b>	豊後田染庄における建武内乱前後	野 田 秋 生	62
<b>17・18・19・20</b>	朽網親満之乱	田 北 学	72
<b>21・22</b>	豊後国東郷と諸富名について—二豊荘園の研究—	渡 辺 澄 夫	52
<b>23</b>	豊後国大分郡勝津留・津守荘・勾別符・植田荘—二豊荘園の研究—	渡 辺 澄 夫	1
<b>23</b>	豊後一宮柞原八幡宮に関する二・三の考察	外 山 幹 夫	41
<b>23</b>	豊後風土記中の大分郡の酒水について	二 宮 好 雄	75
<b>24</b>	豊後大友氏の出自について	渡 辺 澄 夫	1
<b>25</b>	豊後大友氏の下向土着と嫡子単独相続制の問題	渡 辺 澄 夫	1
<b>25</b>	古代転換期の神道と仏教—八幡宮及び弥勒寺建立に至るまでの宗教的背景—	中 野 幡 能	31
<b>25</b>	橋本徳太郎氏「豊後大友氏の出自に就て」	立 川 輝 信	152
<b>27</b>	版経大般若経の書誌学的研究—大分市円寿寺所蔵大友吉統奉納大般若経に就て—	立 川 輝 信	1
<b>27</b>	大友宗麟は切支丹か	増 村 隆 也	83
<b>28</b>	佐田氏研究（その一）	大 隈 米 陽	1
<b>28</b>	賀来川の流路の移行と賀来荘および平丸名について	二 宮 好 雄	11
<b>28</b>	安岐城の戦について疑問の数々	水 口 忠 孝	17
<b>28</b>	真宗僧伽の本質と歴史(一)	長 峯 崇 仁	58
<b>29・30</b>	大野川(1) —その歴史社会的考察—	富 来 隆	1
<b>29・30</b>	大友時代の府内病院	荒 巻 逸 夫	31

29・30	真宗僧伽の本質と歴史(二)……………	長 峰 崇 仁……………	57
29・30	伝承から見た耶馬台国……………	有 木 馨……………	88
31	大友氏の分国法……………	外 山 幹 夫……………	1
31	中世末における城下集落の発生……………	染 矢 多喜男……………	31
31	大野川(2) 一その歴史社会学的考察一……………	富 来 隆……………	49
32・33	「虚空津姫」と「狗古智卑狗」と 一魏志倭人伝の理解に一……………	富 来 隆……………	1
32・33	大野郡三重郷の地頭新田陸奥守について 一「豊後国図田帳考証」の考証一……………	渡 辺 澄 夫……………	10
32・33	佐田氏研究(その二)……………	大 隈 米 陽……………	101
35	中世における六郷満山 一六郷満山研究7・8一……………	中 野 幡 能……………	1
35	真宗僧伽の本質と歴史(三)……………	長 峯 崇 仁……………	73
36・37	宇佐宮の職人とその活動……………	外 山 幹 夫……………	1
36・37	六郷山領の崩壊過程 一六郷満山の研究10一……………	中 野 幡 能……………	36
38・39・40	大友氏入国以前の大野荘と大神氏……………	中 野 幡 能……………	1
38・39・40	大野荘と三聖寺……………	飯 田 久 雄……………	25
38・39・40	豊後国大野荘における在地領主 制の展開 一地頭志賀氏を中心として一……………	渡 辺 澄 夫……………	55
38・39・40	豊後国大野荘史料……………	渡 辺 澄 夫……………	137
45	国東御領諸富名主の系譜 一別府市後藤氏蔵「紀系図」について一……………	渡 辺 澄 夫……………	1
45	国東地方の紀姓について……………	永 松 照 政……………	57
46	豊後風土記の「打狻・八田・国摩侶」……………	富 来 隆……………	1
47	奈多氏の研究……………	水 口 忠 孝……………	37
53	豊後国内島津領の情勢 一南北朝期における大野郡井田郷の場合一……………	芦 刈 政 治……………	23
54・55	東国東郡におけるキリシタン……………	H・チースリク……………	1
54・55	キリシタン紋章説と中川久留子……………	松 田 毅 一……………	51

54・55	続戦国時代の豊後府内港其他……………	岡本良知……………	64
54・55	玖珠郡のキリシタンについて (戦国時代末期～江戸初期)……………	宿利天祐……………	82
54・55	キリシタンの街「野津」……………	平山喜英……………	231
58	風土記研究をかえりみて……………	中島市三郎……………	40
58	「大分県史料」補遺(一)……………	渡辺澄夫……………	92
62	大友宗麟のヤソ会総長宛て 書状の真偽について……………	渡辺澄夫……………	1
65	大友吉統あての教皇書簡……………	H・チースリク……………	1
66	宇佐宮御供田庄岩崎庄・小野庄の研究……………	中山重記……………	1
73	古代中世の大分……………	渡辺澄夫……………	21
73	イエズス会の歴史・アジア篇 第1部 23.24.25.26 の試訳……………	溝部脩……………	53
73	大分市主部の集落の歴史概観……………	兼子俊一……………	101
74	国東半島に於けるタタラ遺跡について……………	末綱杵一……………	124
76	僧法蓮について 一続日本紀の法蓮関係記事をめぐって……………	後藤宗俊……………	1
76	八幡宇佐宮における補任制度の考察……………	橋本操六……………	23
76	一ツ戸城主中間氏考……………	益永嘉之……………	79
77	イエズス会の歴史・アジア篇 第1部 1・3・4 の試訳(2)……………	溝部脩……………	25
78	豊前国の土豪元重氏について……………	外園豊基……………	1
78	天正15年横山谷内元重村検地写帳事……………	外園豊基……………	50
79	豊後大神氏の出自について 一中野幡能氏「宇佐大神氏進出説」批判……………	松岡実……………	1
84	豊後「国府」の位置について……………	富来隆……………	1
84	豊後国府についての一考察……………	木原武雄……………	9
84	豊前国宇佐郡麻生仁人文書……………	中山重記……………	66
84	南北朝期の年号記銘文化財の分布と豊後武士 の動向—日本史教材研究覚書—……………	佐藤満洋……………	95

85	大宰府学と豊後の関係について……………鹿毛基生…………75
87	刀匠豊後国行平の研究……………山田正任…………20
87	到津本宇佐宮神領大鏡の二・三の疑問……………橋本操六…………37
88	天正末期の豊後国植田荘について 一種田荘名々給人注文写の研究一……………佐藤満洋…………1
88	元暦文治記……………中山重記…………68
90	石清水八幡宮宇佐宮弥勒寺の本家となる……………中山重記…………56
93	「造神宮寺料」の行方について……………中山重記…………1
93	豊前・豊後の古名刀工 一神息・長円・定秀・行平一……………山内美德…………50
94	大友氏の戦国大名化……………若杉昌昭…………1
94	田染宇佐氏の動向 一十三世紀 中葉から十四世紀中葉までを中心に……………広瀬謙治…………25
94	県内における中世の庚申信仰……………小泊立矢…………48
94	旧府内城下図の信憑性……………橋本操六…………59
94	広崎文書補遺……………乙咩政巳…………68

## 近 世

創	三浦梅園と府内の詞友門弟……………久多羅木儀一郎…………71
創	岡藩における心学の概要 一広徳舎の沿革一……………北村清士…………79
創	大分郡庄内の生んだ志士後藤順平小伝……………立川輝信…………82
創	資料二題……………土生よねさく…………97
3	長野馬貞「追悼晩塚集」……………松本義一…………1
3	豊後日田中城河岸と竹田河岸……………勝目忍…………9
3	近世豊後における山村家族と村落構造……………佐藤節…………15
3	細川侯参勤交代出船之図について……………田北学…………27
3	豊後大分郡津守村の五人組手形……………マリオ・マレガ…………31
4	江戸時代に於ける別府の交通 一主として海岸部の陸上交通路一……………安部巖…………12

4	豊府聞書と豊府紀聞	久多羅木儀一郎	24
4	海部郡旧堅田郷を中心とする庶民史料目録	疋田泉	36
4	別府市湯山の史蹟—湯の花採取場—	後藤武夫	49
4	岡城と知覧勢	黒田勇	53
5	松平忠直の豊後配流途上の書状	渡辺澄夫	53
5	咸宜園門人数国別調	立川輝信	55
6	維新志士 加藤龍吉小伝	土居寛申	25
6	豊後机長原の開拓	工藤繁則	33
6	佐伯文庫の行方	増村隆也	44
6	「外財根元記」に就いて	安藤隆	53
7・8	旧石垣村の交通路に関する一考察	永井幹生	1
7・8	近世の「賀来の市」における店について	津野義和	22
7・8	臼杵流行之ちよんかれ	今泉弥佐助	37
9	青の洞門	山本聡治	15
9	享保十一年南海部郡因尾村の 走り百姓と逃散に就て	立川輝信	19
9	南海部郡旧堅田郷を中心とする 庶民史料目録(其の二)	疋田泉	23
9	大分県修験資料(一)金山文書	松岡実	30
10	豊府聞書最古本?	立川輝信	28
11・12	江戸時代の別府	久多羅木儀一郎	42
17・18・19・20	巡見使の岡藩査察につきて	北村清士	105
17・18・19・20	宝暦十一年 <sup>府内藩</sup> 里郷		
	上村組百姓騒擾始末	立川輝信	116
17・18・19・20	近世における 玖珠郡小田村の構造	佐藤節	127
23	虚無僧の留場について	黒田城北	68
24	津久見の切支丹資料	増村隆也	18
24	島原の乱と二豊の諸藩	立川輝信	28
	一特に津留時代の大給松平忠昭を主として一		



24	豊前中津藩における町人生活の一考察(一)……………橋本操六……………72	
	—享保年間の変遷を中心として—	
24	三重の市考……………土生よねさく……………101	
24	鶴崎地方の潜伏キリシタン……………久多羅木儀一郎……………116	
24	府内藩御用紙すきについて……………二宮好雄……………133	
25	豊前中津藩における町人生活の一考察(二)……………橋本操六……………50	
	—享保年間の変遷を中心として—	
25	城米(＝困米＝)に就ての一考察……………立川輝信……………96	
	—大分県特に府内藩を主として—	
25	別府の歴史 堤防を訪ねて(一)……………安部巖……………139	
25	津久見市切支丹資料第二報……………増村隆也……………158	
	森脇	
25	竹中采女正と江戸城記録……………黒田城北……………167	
26	安永七年の殺人事件とその処罰……………立川輝信……………15	
	—御定書より見たる府内藩日記所載竹町の殺人事件に就て—	
26	別府の歴史 堤防を訪ねて(二)……………安部巖……………59	
28	佐伯の文学……………増村隆也……………31	
28	別府の歴史 堤防を訪ねて(三)……………安部巖……………78	
29・30	大野川通船について……………土生よねさく……………73	
29・30	浄竜寺由緒書……………立川輝信……………114	
32・33	岡藩の唐津城番について……………北村清士……………49	
32・33	明治四年豊後国大分郡口戸村指出帳……………立川輝信……………136	
41	九州の製蠟業における労働力……………野口喜久雄……………1	
41	中津藩における近世城下町の共同体的自治組織(その一)	
	—大井手堰夫役をめぐる町の立場—……………勝目忍……………79	
42	岡藩における心学……………北村清士……………48	
	—広徳舎の由来について—	
42	秋風庵月化と五馬紀行について……………高倉芳男……………81	
43・44	江戸時代の玖珠郡「森藩と天領」について—森藩の成立と藩の組織—……………宿利天祐……………1	

43・44	河上彦斎一名高田源兵衛と鶴崎……………	立川輝信……………	14
43・44	今泉元甫の遺跡……………	羽柴弘……………	63
43・44	豊府領略記……………	立川輝信……………	75
43・44	大分県近世庶民史料目録(一) 一直入郡武藤家文書・戸伏氏所蔵文書一	渡辺澄夫 北村清士 佐藤清洋……………	104
45	文書から見た天領日田の庄屋について……………	高倉芳男……………	29
45	大分県近世庶民史料目録(二) 一玖珠郡緒方文彦氏文書・麻生富久男氏文書・ 日田郡矢幡健氏文書一……………	野口喜久雄……………	61
46	豊後国直入郡地方の「かいち」の考察 一井手野村・城後村の場合一……………	佐藤満洋……………	7
46	堤防を訪ねて(四)……………	安部巖……………	35
47	青木猛比古……………	佐藤蔵太郎……………	2
47	幕末の志士青木猛比古……………	野々下道太郎……………	5
47	父の物語られた青木猛比古……………	疋田泉……………	9
47	勤王家青木猛比古先生……………	下川勝三郎……………	13
47	大分県近世庶民史料目録(三) 一別府市・速見郡一……………	安部巖……………	63
48	御嶽権現の古文書 一鳥居鎮座火男火売神社史料一……………	松岡実……………	43
48	旧藩事蹟調一県内旧熊本県領分一……………	立川輝信……………	63
48	大分県近世庶民史料目録(四) 一竹田市・大野郡一……………	北村清士……………	89
49	稲葉氏の白杵城……………	高橋長一……………	1
49	辺地における近世農村の成立(一) 一豊後国直入郡城後村の場合一……………	佐藤満洋……………	5
49	甲斐鶴寸の遺文 一「常磐井堤の記」を遺した歌人一……………	羽柴弘……………	53
49	大分県近世庶民史料目録(五) 直入郡城後村 田北フサ子氏文書目録……………	渡辺澄夫 野口喜久雄 佐藤清洋……………	79

50	商人資本による山林所有の形成 一日田商人、三印鍋屋森家の事例一	勝 目 忍	1
50	無宿中太郎御仕置始末(亀川観音寺文書)	黒 田 城 北	55
51	大分県を中心に調査した柔術 揚心流、について	長谷川 哲 郎	1
51	文禄檢地における臼杵町屋敷と石盛	佐 藤 満 洋	29
51	豊後国日出湊の間	野 口 喜久雄	43
52	辺地における近世農村の成立(一) 一豊後国直入郡城後村の場合一	佐 藤 満 洋	1
52	杵築藩における在宅牢人の動向について	小 玉 洋 美	20
52	長三洲雑話	高 倉 芳 男	57
52	望月家文書	野 口 喜久雄	65
53	養賢公毛利高政 一初代佐伯藩主としての治政一	羽 柴 弘	39
53	大砲製造	久 保 トミ子	97
54・55	大分県大野郡緒方町字馬背畑の 珍らしい二重の洞窟について	マリオ・マレガ	67
54・55	豊後国大分郡、玖珠郡切死丹 宗門親類書について	安 部 光五郎	99
54・55	中津近郷キリシタンおぼえがき	島 通 夫	135
54・55	吉四六さんはキリシタン?	安 藤 一 馬	168
54・55	高田地方のキリシタン	小手川 又 吉	175
54・55	キリシタン宗門類族、 御改帳他系の総合研究	北 村 清 士	191
54・55	岡藩の類族系統と踏絵廻郷日記	北 村 清 士	220
54・55	切支丹新史料(速見郡)	安 部 巖	227
56	林野統一事業と入会関係 一九重山麓、久住町都野地区の場合一	勝 目 忍	29
56	勤王の志士「木付義路小伝」	今 村 孝 次	57
56	咸宜園最後の講師 勝屋明浜先生	高 倉 芳 男	74

56	楊心流の易法について 一楊心流研究(其の2)一	長谷川 哲 郎	94
56	楊心流の武術理論(武技と兵法)の内 武技の章(付武器について) 一楊心流研究(其の3)一	長谷川 哲 郎	104
56	大分県近世庶民史料目録(六) 安東清一・清水房生氏文書	野 口 喜久雄	120
57	楊心流家系と「当て身、生かし」の理論及び 医術について一楊心流研究(其の4)一	長谷川 哲 郎	20
58	太閤検地における村位別石盛り制の研究(一)	佐 藤 満 洋	12
59	府内藩の庄屋について 一特に三重野家を中心にして一	安 藤 保	1
59	太閤検地における村位別石盛り制の研究(二)	佐 藤 満 洋	25
59	矢幡氏文書	野 口 喜久雄	70
61	日田地方のキリシタンについて	高 倉 芳 男	57
61	太閤検地における村位別石盛り制の研究(三)	佐 藤 満 洋	69
62	百姓代の成立とその変遷(上) 一豊後国日田郡鎌手村の場合一	渡 部 哲 治	11
62	太閤検地における村位別石盛り制の研究(四)	佐 藤 満 洋	21
62	文禄二年豊後国大分郡高城村・中村検地帳	野 口 喜久雄	41
63	百姓代の成立とその変遷(下) 一豊後国日田郡鎌手村の場合一	渡 部 哲 治	1
63	太閤検地における村位別石盛り制の研究(五)	佐 藤 満 洋	11
65	文禄二年の速見郡日出の石盛	佐 藤 満 洋	5
65	文禄二年豊後国大分郡瀧河内上瀬村検地帳	佐 藤 満 洋	10
68	近世における豊前豊後の教育	鹿 毛 基 生	1
68	豊後国森藩の上米について	野 口 喜久雄	46
68	豊前国四日市村年代記(一)	中 山 重 記	60
69	豊後国森藩の借財について	野 口 喜久雄	1
69	近世豊前豊後学校史年表	鹿 毛 基 生	55

69	豊前国四日市村年代記(二)……………	中山重記……………	69
70	豊後森藩の生産と流通の統制……………	野口喜久雄……………	1
70	佐伯藩の石盛について……………	佐藤満洋……………	13
70	豊前国四日市村年代記(三)……………	中山重記……………	29
71	豊後国森藩の年貢……………	野口喜久雄……………	1
71	豊前国四日市村年代記(四)……………	中山重記……………	27
71	直入郡朽網郷三屋入会地境文書……………	佐藤満洋……………	43
73	大分市域の太閤検地……………	佐藤満洋……………	66
73	長春園逸記……………	鹿毛基生……………	108
74	大分市史における府内藩の藩政改革補稿……………	橋本操六……………	25
74	豊前国四日市村年代記(五)……………	中山重記……………	76
74	日出藩学校記録(一)……………	鹿毛基生……………	82
74	津江筋天保飢饉歎願書(一)……………	高倉芳男……………	98
74	黒田節母里太兵衛佐田荘……………	大隈米陽……………	118
74	佐伯城三ノ丸櫓門……………	小野英治……………	126
75	それは間違いか一杵築藩校学習館の門一……………	入江英親……………	89
76	江戸初期の豊前村落 一 下毛郡元和人番改帳数値を主体として一……………	後藤重巳……………	47
76	「島田虎之助」覚之書……………	大塚俊英……………	121
76	浪人株引起願調……………	島通夫……………	137
77	和泉国における村位別石盛について……………	佐藤満洋……………	95
77	国東半島初期の文字庚申塔……………	渡辺信幸……………	38
77	日出藩学校記録(二)……………	鹿毛基生……………	71
77	豊前四日市村年代記(六)……………	中山重記……………	84
78	初瀬井路史料……………	平野秀雄……………	77
79	唐川即定先生……………	高倉芳男……………	52
79	岡藩「大方組絵図御改之帳」について……………	佐藤満洋……………	103
80・81	大名鳥居についての一考察 一大分県下各藩の特徴一……………	高原三郎……………	1

80・81	豊後国森領の「潰れ」……………野	口	喜久雄……………33
80・81	江戸末期における 関手永大平村の農民生活……………神	崎	信博……………53
80・81	豊前国時枝領の支配とその構造 一天明期を中心として……………渡	辺	達也……………78
80・81	宇佐宮朱印領の支配権について……………中	山	重記……………97
80・81	幕藩体制下の日田……………高	倉	芳男……………118
80・81	府内藩記録天保十己寅年御参府日記……………赤	峯	重信……………139
80・81	二豊大名の変遷状況と 各藩の出自と系譜……………橋	本	操六……………154
82	賀来飛霞研究の現状……………大	限	米陽……………73
83	臼杵藩体制の確立一番方を中心に……………秦	政	博……………1
83	正保四年「豊後国郷帳」にみる 豊後国の分割支配の実態……………佐	藤	満洋……………29
83	津江筋天保飢饉歎書(一)……………高	倉	芳男……………85
84	豊後臼杵藩制確立過程の一側面 一地方支配を中心として……………秦	政	博……………45
85	杵築藩政の展開と殖産興業 一青筴仕法とその経営(一)……………半	田	隆夫……………1
85	海部郡佐賀関番所考(その一)……………神	崎	信博……………18
85	幕藩体制下の日田(二)……………高	倉	芳男……………35
85	江戸時代の「分知」と「化粧料」……………高	原	三郎……………55
85	府内藩の消防組織……………赤	峯	重信……………84
85	豊前国四日市村年代記(七)……………中	山	重記……………117
86	関流和算家古原三平とその学統について……………水	口	忠孝……………66
88	森藩の日田県進駐……………高	倉	芳男……………34
89	杵築藩政の展開と殖産興業 一青筴仕法とその経営(二)……………半	田	隆夫……………1
89	因尾村における農民経済の発展 一紙すきを中心に……………橋	本	讓司……………17

89	県下の江戸期の一村数藩分属事例について…高	原 三 郎	42
90	中川氏と旧大友領民一庄屋層の場合……………芦	刈 政 治	1
90	豊後臼杵藩における組制・ 庄屋制度について……………秦	政 博	13
90	大分県下近世初期より 明治四年までの所領交換事例について…………高	原 三 郎	35
90	来浦船問屋文書及び延岡領千才役所史料…………中	山 信 人	92
90	佐伯毛利藩史料について……………橋	本 操 六	96
91	豊後豊前当山派修験分布 日出町蓮華院文書による……………佐	藤 暁	74
93	高橋草坪一南画についての一考察……………宗	像 健 一	21
93	豊前国時枝領百姓騒動史料(1)……………豊	田 寛 三	86
93	賀来飛霞略年譜……………山	下 愛 子	113
95	幕藩体制下における宇佐宮造営について…………中	山 重 記	1
95	近世の大分県下の境目出入(論争)について…高	原 三 郎	27
95	肥後領キリシタンの捕縛について……………豊	田 寛 三 小 林 美 恵 子	50
95	銀札の実勢について……………赤	峯 重 信	75
98	豊後における在町商人の研究……………長	友 禎 治	1
98	慶長3年豊後国大野郡鍛冶股名内(臼迫村) 検地史料……………後	藤 重 巳 山 中 浩 二	34
99	宇佐市海岸部の新田開発……………桃	田 美 純	34
99	中津市角木町の古文書について……………中	野 政 喜	105

## 近 ・ 現 代

5	河野清実さんの事ども……………清	原 貞 雄	73
11・12	別府の社会構成……………富	来 隆	128
27	西南の役史料 大分県騒擾一件……………黒	田 勇	121
43・44	西南役の三重市の戦闘……………土生	よねさく	42
48	志士本好千座……………中	野 幡 能	1

48	鯨と別府湾	安部 巖	38
50	樋田魯一小伝	樋田 並 滋	27
50	明治二年百姓一揆に関する城中手記と ある小庄屋の被害覚え書き	北村 清 士	51
51	山内流の起源とその推移について	可 児 雄二朗	22
66	千町無田開拓史(上)	青 木 充 栄	64
68	千町無田開拓史(下)	青 木 充 栄	20
73	明治中期における大分町の素顔	後 藤 重 巳	85
76	中津藩における「民政向建白状」 の処理に関する一史料	内 納 久 雄 豊 田 寛 三	127
84	ふるさと豊肥線昔と今(一)	荘 田 啓 介	93
88	県立大野中学校設立をめぐる諸問題 一政友・民政の政争に関連して一	吉 田 豊 治	50
91	「中島統規約書」および 「青年規則誓約書」について	小 玉 洋 美	96
92	白杵藩の解体 一明治期の藩政改革を中心として一	末 広 利 人	1
92	明治初期における地方行政制度 一大区小区制下の豊後一	加 藤 泰 信	43
92	県立大野中学校廃校にいたる経過 一青年学校教員養成所設置との関連一	吉 田 豊 治	67
93	戦後日本美術の異彩 荒井龍男	後 藤 龍 二	34
93	明治三年御変革一件控	後 藤 重 巳	93
95	大分県における明治期の養蚕製糸業	浅 野 勝	79
96・97	大分県の道路交通一明治・大正期一	末 広 利 人	1
96・97	明治末期大分県七島蘭・青蓮の生産・ 販売状況一豊後国東地方を中心として一	村 上 勉	37
96・97	明治初期大分県町村合併概略	加 藤 泰 信	66
96・97	梅園全集の編さん責任者 藤井専随氏について	白 井 淳三郎	74



96・97	昭和初期の農村部における中等教育……	吉田豊治	78
96・97	明治8年 小倉県第8大区 （宇佐郡河西部）の民会規則について……	佐藤節	117
98	大分県近現代史研究の現状と課題……	末広利人	53
99	大分県民会の創設……	加藤泰信	17
99	井上準之助—その人と経済観—……	三重野勝人	68
99	豊饒青年会規則について……	小玉洋美	98

## 民 俗

創	下毛郡耶馬溪村下郷 雲八幡宮川太郎（カツバ祭）の祭文……	山本入山	85
創	谷村の大將軍祭……	半田康夫	95
3	若宮八幡社の御田植神事……	入江英親	35
4	冠婚葬祭の特殊性と社会関係 —大野川河口のキリシタン部落—……	富来満	28
4	佐伯神楽（一名堅田神楽）覚書……	疋田泉	42
4	日田郷土行事の奇習……	武石繁次	46
5	南大分羽屋の百手祭……	半田康夫	44
5	伝説の川太郎とかっぱがく（その二）……	山本入山	56
6	宇佐放生会の傀儡子……	半田康夫	7
6	婚礼の風習について—坂ノ市町久土部落—……	富来満	42
6	法華院山伏弥藏坊の系譜……	松岡実	59
7・8	「耶蘇童子歌」……	半田・立川	45
7・8	耶教徒遺蹟朝霧社……	土居寛申	47
7・8	別府の地獄の鬼由来、その他……	後藤武夫	56
9	庚申信仰の歴史 —豊後国大野郡地方を中心とした—……	芦刈政治	8
10	賀来善神王について……	二宮好雄	65
11・12	速見郡塚原霧島神社の甘酒祭……	半田康夫	125
17・18・19・20	大分県における市地名……	染矢多喜男	135

17・18・19・20	明礬温泉の史話と史料	後藤 武夫	147
17・18・19・20	吉三郎の墓と伝説	土屋 北彦	155
21・22	大分県における市の調査(一)	染矢 多喜男	1
21・22	国東半島昔話	宮崎 一枝	20
21・22	九州地方の「ひかり」について	渡辺 澄夫	28
21・22	姫島のヨワ(産屋)について	山下 富士松	43
21・22	日田郡津江の代参講	半田 康夫	49
23	大分県における市の調査補遺	染矢 多喜男	55
26	保戸島の「イノコ」行事について	野崎 一郎	53
26	カゴムシ	中間 照雄	57
27	直入地方の八朔について	佐藤 満洋	109
27	地名「真所」について	染矢 多喜男	97
27	五馬村の風俗習慣年中行事	松岡 実	114
28	信仰と地名	染矢 多喜男	23
28	大黒さまの「かるいひも」	佐藤 満洋	76
29・30	佐伯神楽		
	(一名堅田神楽)について(其の二)	疋田 泉	42
29・30	賀来神社の大名行列について	二宮 好雄	100
31	佐伯神楽(一名堅田神楽)について(其の三)	疋田 泉	38
32・33	佐伯神楽		
	(一名堅田神楽)について(其の四)	疋田 泉	57
35	大分県の民俗芸能(一)	染矢 多喜男	57
36・37	大分県の民俗芸能(二)	染矢 多喜男	65
41	大分県の民俗芸能(三)	染矢 多喜男	47
41	漁村の正月行事		
	一大分県臼杵市大字諏訪字津留一	加藤 泰信	100
42	正月行事(宇佐郡駅川町拜田・山本地区)	小玉 洋美	54
42	大分県の民俗芸能(四)	染矢 多喜男	28
43・44	大分県の民俗芸能(五)	染矢 多喜男	31
45	大分県の民俗芸能(六)	染矢 多喜男	8

46	大分県の民俗芸能(出)	染 矢 多喜男	51
46	九重山麓の婚姻習俗	藤 原 正 教	70
46	九重山の山伏	松 岡 実	73
49	大分県の民俗芸能(入)	染 矢 多喜男	26
50	古い生業	染 矢 多喜男	40
51	大野郡楽員会	染 矢 多喜男	72
52	大分県の民俗芸能(九)	染 矢 多喜男	36
52	民俗芸能資料	染 矢 多喜男	69
53	立石楽について	入 江 英 親	59
53	大分県の民俗芸能(十)	染 矢 多喜男	71
56	南大分平野の施餓鬼(上)	佐 藤 満 洋	1
57	南大分平野の施餓鬼(下)	佐 藤 満 洋	1
57	平川の民俗	小 玉 洋 美	37
57	杉河内の民俗	染 矢 多喜男	64
57	荒山の民俗	橋 本 操 六	85
57	馬原の民俗	加 藤 泰 信	92
58	「日本の風習に関する 注意と警告書」について	溝 口 脩	1
58	覚書「鬼と舟と鳥」	佐 藤 暁	72
59	安心院の「庭入り」	松 岡 謙一郎	87
60	納屋の民俗(一)	藤 原 正 教 染 矢 多喜男	1
60	阿蘇野の民俗(一)	加 藤 泰 信	41
60	内成の民俗(一)	小 玉 洋 美	20
60	飯田の民俗(一)	後 藤 正 二	60
61	宇佐神宮の御田植祭	入 江 英 親	1
61	香々地町、国見町の庚申塔	小 泊 立 矢	31
61	笛(横笛、尺八、竹貝)一大分県の竹史一	安 部 巖	41
61	野津原地方の庚申信仰	岡 部 富久市	13
63	蒲江浦の民俗	染 矢 多喜男	31

63	竹と建築—大分県の竹史—	安部 巖	74	
64	山畑の民俗(一)	小泊 立矢	16	
64	大分県下における貴船信仰について	高原 三郎	1	
64	納屋の民俗(二)	藤原 正教 染 矢 多喜男	28	
64	内成の民俗(二)	小玉 洋美	47	
64	阿蘇野の民俗(二)	加藤 泰信	63	
64	飯田の民俗(二)	後藤 正二	78	
66	高浜・西神野・小野市の民俗	染 矢 多喜男	23	
67	山畑の民俗(二)	小泊 立矢	1	
67	納屋の民俗(三)	染 矢 多喜男	17	
67	内成の民俗(三)	小玉 洋美	31	
67	高田の民俗(一)	後藤 正二	51	
67	神原の民俗(一)	加藤 泰信	58	
67	河内浦戸籍覚え書き	染 矢 多喜男	74	
69	御霊神考	高原 三郎	14	
69	大野地方の先祖まつり	岡部 富久市	43	
70	天満宮祭座当番年中式事録	後藤 重巳	45	
71	天狗と鳥と不動(一)	佐藤 暁	17	
72	大分県の年中行事		1	
	大野	小玉 洋美	久木小野	田原 昭憲
	神ノ木	今見堂節男	西野浦	秋吉 心良
	相原	河野 了	柴山	川野 孝慶
	北江	小泊 立矢	四ツ口	後藤 是美
	船	野崎 一郎	高橋	宿利 清磨
	三川	加藤 泰信	丸藏	染矢多喜男
72	杵築市の亥の子	染 矢 多喜男	54	
73	府内の蛭子様	富成 栄六	75	
74	山村のなりわい—日田郡中津江村丸蔵—	染 矢 多喜男	44	
74	天狗と鳥と不動(二)	佐藤 暁	56	
74	影をひそめた竹垣—大分県竹史(三)—	安部 巖	68	

- 74 庚申縁起……………小 泊 立 矢………… 114
- 75 大分県の民具(一)…………… 1
- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| 衣……………  | 染矢多喜男 | 山樵…………… | 宿利 清磨 |
| 食……………  | 加藤 泰信 | 諸職…………… | 小泊 立矢 |
| 住……………  | 後藤 正二 | 運搬…………… | 吉田 豊治 |
| 農耕…………… | 川野 孝慶 | 信仰…………… | 佐藤 満洋 |
| 漁撈…………… | 秋吉 心良 | 一生…………… | 小玉 洋美 |
- 75 竹馬一大分県の竹史(四)……………安 部 巖…………82
- 76 北原人形芝居おぼえがき……………島 通 夫…………87
- 77 臼坪部落の杖……………勝間田 三千夫…………53
- 77 ユカ(ユガ)社考……………高 原 三 郎…………62
- 78 鶴崎地方の庚申信仰について……………岡 部 富久市…………36
- 79 「シラヒゲ」社考—続大分の神々—……………高 原 三 郎…………72
- 79 笠掛・三股部落の杖……………勝間田 三千夫…………83
- 82 大分県の民具(二)…………… 1
- |         |       |          |       |
|---------|-------|----------|-------|
| 衣……………  | 染矢多喜男 | 手工……………  | 小泊 立矢 |
| 食……………  | 吉田 豊治 | 染職……………  | 渡辺 靖彦 |
|         | 若杉 昌昭 | 運輸……………  | 宿利 清磨 |
| 住……………  | 小玉 洋美 | 信仰……………  | 松岡謙一郎 |
| 農具…………… | 河野 了  | 芸能……………  | 後藤 正二 |
|         | 川野 孝慶 | 年中行事………… | 加藤 泰信 |
| 漁具…………… | 秋吉 心良 |          | 加藤 健一 |
| 畜産…………… | 佐藤 満洋 |          |       |
- 82 米水津村小浦の民俗……………染 矢 多喜男…………46
- 86 日田雨乞い考……………高 倉 芳 男………… 1
- 86 日田地方の年中行事……………染 矢 多喜男…………21
- 86 カツパとその周辺……………佐 藤 節…………49
- 86 大分県の民具(三)……………染 矢 多喜男…………57
- |  |         |
|--|---------|
|  | 河 野 了   |
|  | 小 玉 洋 美 |
- 86 先祖祭聞書……………中 島 信 彦…………90

87	大分鶴崎「家島」に於けるノリ養殖と その用具について……………	岡部 富久市……………	59
87	羽出浦の歴史と民俗(一)……………	安部 弥右衛門……………	67
88	羽出浦の歴史と民俗(二)……………	安部 弥右衛門……………	76
89	羽出浦の歴史と民俗(三)……………	安部 弥右衛門……………	72
90	豊後高田市の庚申調査……………	岩野 勝……………	79
91	日田虫送り考……………	高倉 芳男……………	1
91	大分郡庄内地方の庚申信仰について……………	岡部 富久市……………	15
91	羽出浦の歴史と民俗(四)……………	安部 弥右衛門……………	44
92	羽出浦の歴史と民俗(五)……………	安部 弥右衛門……………	97
93	羽出浦の歴史と民俗(六)……………	安部 弥右衛門……………	61
96・97	羽出浦の歴史と民俗(七)……………	安部 弥右衛門……………	96
99	江戸時代後期の玖珠神楽……………	染 矢 多喜男……………	1
99	大分地方の庚申信仰について……………	岡部 富久市……………	81
99	国東半島のお産小屋と姥捨山と……………	入 江 英 親……………	103

## 文化財

5	熊野石仏(大日尊)の人類学的一考察……………	酒井 富 藏……………	20
9	豊後の石仏と地形地質……………	酒井 富 藏……………	5
26	臼杵の切支丹遺跡……………	増 村 隆 也……………	72
29・30	豊後国朽網郷の切支丹資料(一) 一大分県直入郡久住町石田の切支丹遺跡一……………	佐 藤 満 洋……………	106
53	大分県磨崖石仏研究 一大野郡千歳村大迫大日如来像について一……………	岩 男 順……………	1
54・55	国東半島西部地域のキリシタン遺物……………	酒井 富 藏……………	73
54・55	豊後における磨崖クルスについて……………	佐 藤 満 洋……………	116
54・55	高崎山周辺を中心としたキリシタン墓 の型式分類と編年についての一考察……………	藤 内 喜 六……………	127
54・55	埋匿されていた墓石 重岡のるいざの墓についての考察……………	羽 柴 弘……………	177

<b>54・55</b>	大分市八幡小学校区内 キリシタン墓所在図……………	一法師 武 夫……………	246
<b>58</b>	国東半島の石塔碑の四方仏について……………	酒 井 富 藏……………	64
<b>68</b>	大分郡挾間町下鬼崎の石仏について……………	佐 藤 満 洋……………	53
<b>73</b>	大山寺普賢延命菩薩像について……………	岩 男 順……………	50
<b>75</b>	羽室御霊社と鎮西八郎為朝十二妃塔……………	後 藤 武 夫……………	92
<b>77</b>	直入町山中の宝篋印塔外塔群調査記……………	田 北 暢 舟……………	65
<b>78</b>	大分県における石造 アーチ橋に関する一考察……………	大久保 美 夫……………	17
<b>78</b>	下竹田のキリシタン墓……………	田 北 暢 舟……………	84
<b>79</b>	県内発見の火葬墓について……………	渋谷 忠 章……………	42
<b>79</b>	小鹿田二題……………	後 藤 正 二……………	97
<b>83</b>	大分県における石造アーチ橋に関する資料……………	大久保 美 夫……………	45
<b>84</b>	竹田市上坂田の切支丹墓について……………	南 山 彦……………	89
<b>87</b>	大分県内に残る木造仏像の技法……………	岩 男 順……………	1
<b>91</b>	大分県の石造仁王……………	渋谷 忠 章……………	32

## 歴 史 教 育

<b>創</b>	「大分県小学校社会科教育課程」を読んで……………	富 来 隆……………	93
<b>3</b>	歴史教育における経験の問題 一地方史との関連性一……………	藤 原 正 教……………	41
<b>3</b>	教材研究 村の生活(その一)一はじまり一……………	富 来 隆……………	1
<b>5</b>	教材研究 村の生活(その二) 一豊後国丹生荘について(一)……………	富 来 隆……………	76
<b>6</b>	歴史学の用……………	清 原 貞 雄……………	1
<b>6</b>	社会意識の形成 一いろはカルタと教育勅語一……………	富 来 隆……………	67
<b>7・8</b>	郷土史料の教育的利用について 一歴史教育の試案一……………	栗 林 定……………	61
<b>9</b>	地理的歴史的内容の学習形態……………	安 部 巖……………	26

23	地歴的なものの編集学習について……………	安部 巖……………	72
31	社会科教育のために……………	富来 隆……………	62
32・33	郷土史学習指導の一端……………	木許 正 生……………	143
59	北へひろがる別府 —石垣地区を中心として— ……………	安部 巖……………	51

## 資 料

創	宇佐山郷金石文年表……………	大隈 米 陽……………	93
11・12	温泉都市別府の自然的基礎……………	兼子 俊 一……………	3
11・12	別府地域の温泉史……………	立川 輝 信……………	65
36・37	佐伯雑記(一)……………	増村 隆 也……………	89
41	佐伯雑記(二)……………	増村 隆 也……………	94
42	佐伯雑記(三)……………	増村 隆 也……………	74
43・44	佐伯雑記(四)……………	増村 隆 也……………	67
45	佐伯雑記(五)……………	増村 隆 也……………	46
46	佐伯雑記(六)……………	増村 隆 也……………	95
47	佐伯雑記(七)……………	増村 隆 也……………	54

### 大分県地方史料叢書(4)

「元禄・天保 豊後国郷帳」

A 5 版 ・ P 221

頒 価 1500円(会 員) ㊦ 共

2500円(会員外) ㊦ 共

申 込 先 大分県地方史研究会